

公立新小浜病院基本設計について

平成28年3月に策定した「公立新小浜病院施設整備基本計画」を踏まえ、地域の方々の安全・安心な暮らしを支える地域医療の中核病院を整備するため公立新小浜病院基本設計を作成しましたので、概要を報告します。



完成イメージ

1. 新病院の概要

- (1) 計画地 : 長崎県雲仙市小浜町マリーナ3番地2、4番地
- (2) 敷地面積 : 約6,830㎡
- (3) 構造・階数 : 鉄筋コンクリート造 地上6階建
- (4) 延床面積 : 約7,620㎡
- (5) 病床数 : 150床
- (6) 診療科目 : 13科目
- (7) 駐車場 : 79台
- (8) 概算事業費 : 46.2億円

2. 新病院の特徴について

(1) 地域の人々に配慮した計画

- ・新病院を国道に接した敷地へ移転し、来院者の利便性の向上を図ります。
- ・1階に外来部門を集約することで、外来患者さんの移動を少なくしワンフロアで完結できる「ワンフロア外来」とします。
- ・3階にリハビリテーション部門を設け、屋外広場では自然光や風を直接感じる事が出来る屋外リハビリを行える計画とします。
- ・新たに透析部門を3階に設置し、地域の方々を始め旅行者にも利用出来る計画とします。
- ・6階病棟階は時代のニーズに対応した地域包括ケア病床等に変更可能となるように、施設整備基準に適合する計画とします。
- ・橘湾の眺望が出来るデイルームを病棟階の南側に配置します。

(2) 災害医療の充実・強化

- ・計画敷地が海岸線に近い建物を設備スペースの地盤面を現況地盤面より1m嵩上げし、津波対策を施します。
- ・建物の構造体分類をI類（重要度係数1.5）とし地震力に対して強い構造設計を行い、建物の安全性を確保します。
- ・自家発電装置を整備し、地震等で停電した場合でも3日間連続運転できる燃料を備蓄し入院患者さんの継続した治療や周辺被災者の受け入れによる初期診療が行える計画とします。
- ・大規模地震による液状化の対策として、病院機能と直結する屋外設備スペースと浄化槽設置位置に液状化対策を施し病院機能を確保します。

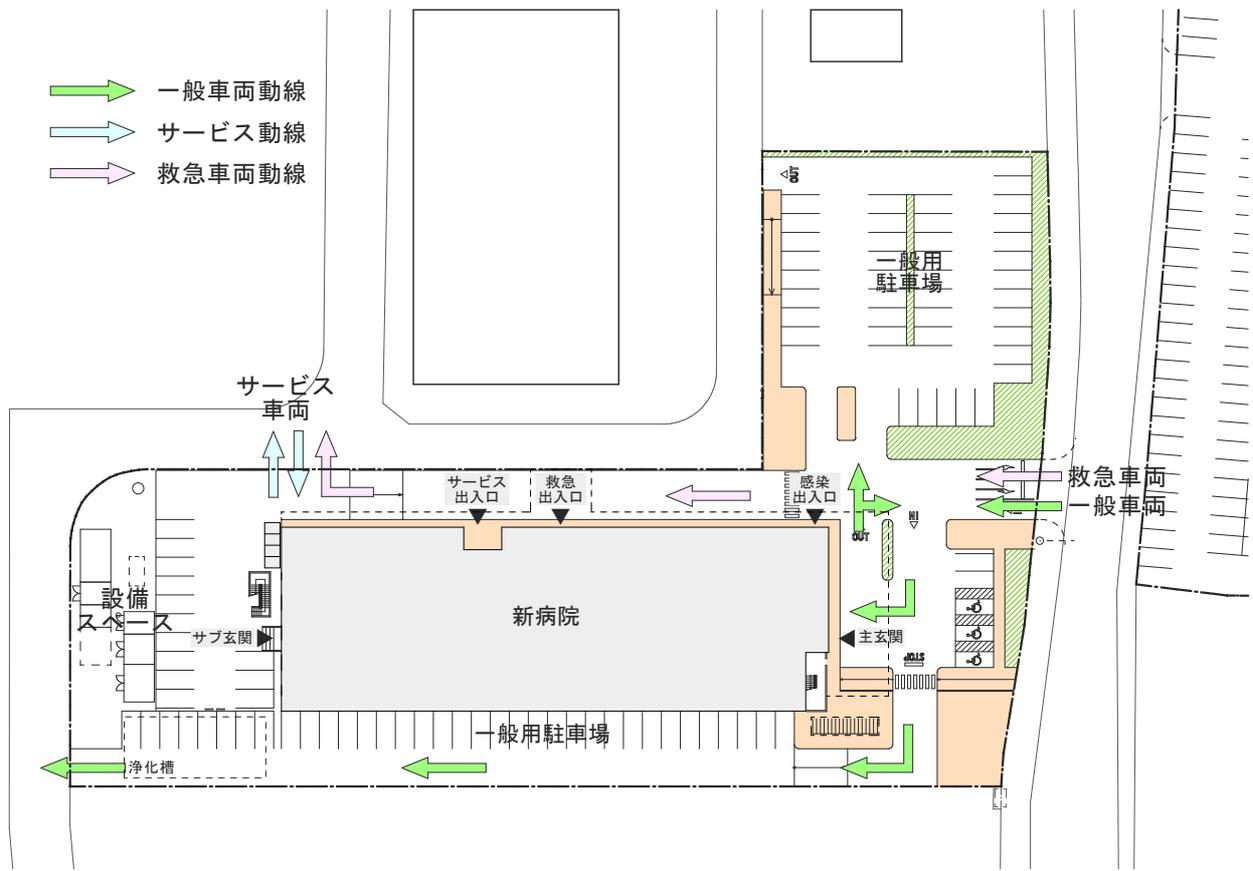
(3) その他

- ・国道251号線から救急部門出入口までの救急車両動線を直線とし、救急患者さんの受け入れをスムーズに行える計画とします。
- ・主玄関とは別に感染用出入口を設け、外部から直接診察室へアクセスすることで院内の他エリアへの感染を抑制します。
- ・建物西側に将来の変化等に備え、増築スペースを確保します。
- ・救急処置室と放射線部門及び関連部門を隣接配置し効率的な動線計画とします。

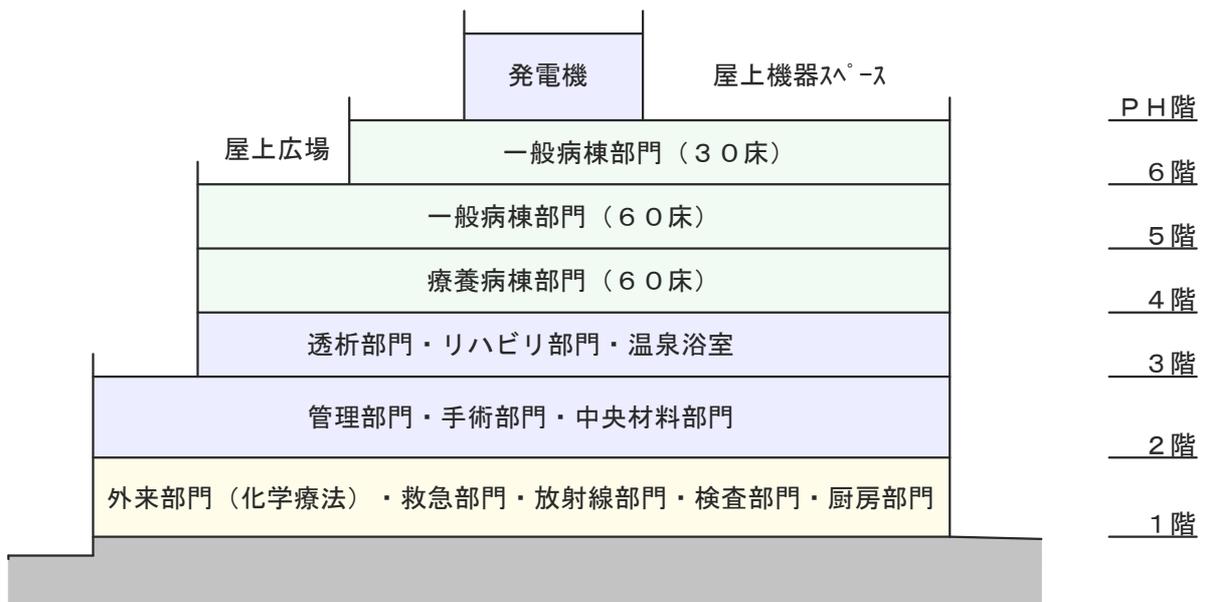
3. 今後の取り組み予定

(1) 病院本体工事

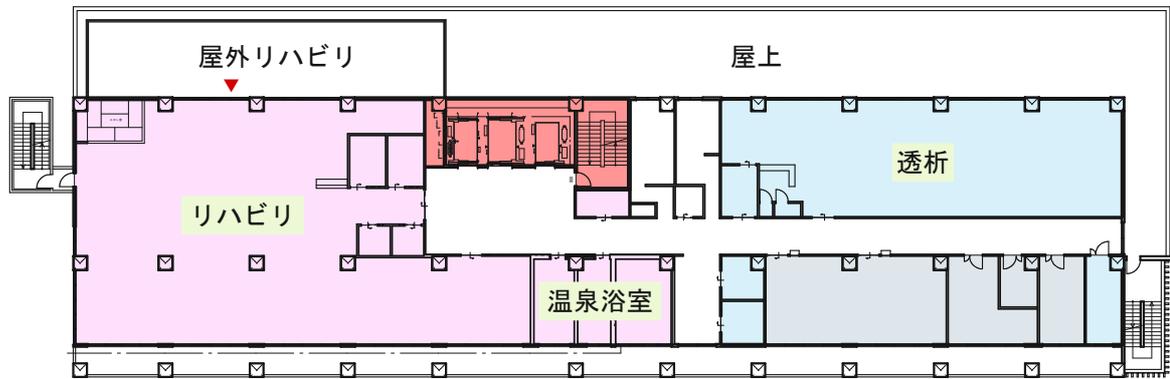
- ・平成29年度 : 実施設計
- ・平成30年度～平成31年度 : 建設工事
- ・平成31年度末 : 開院



配置計画図



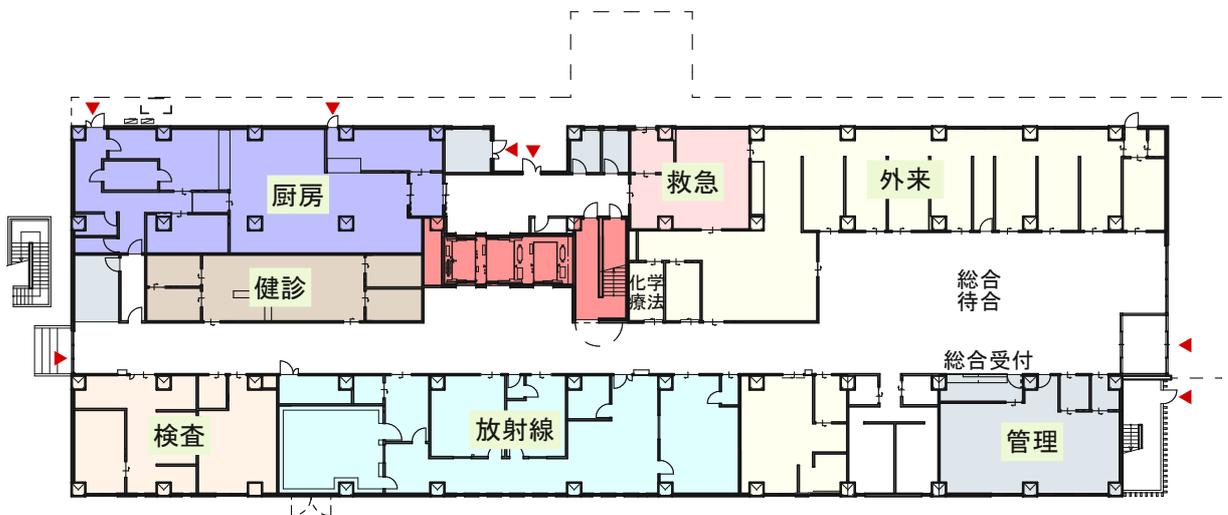
断面構成図



3階：透析部門・リハビリ部門・温泉浴室



2階：管理部門・手術部門・中央材料部門



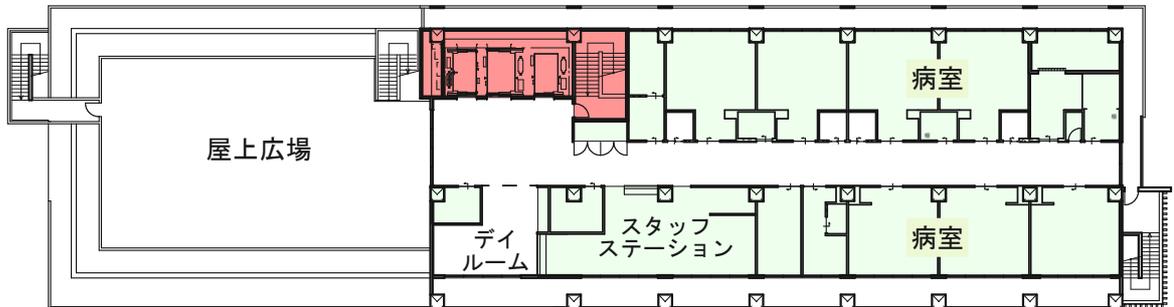
1階：外来部門（化学療法）・救急部門・放射線部門・検査部門・厨房部門



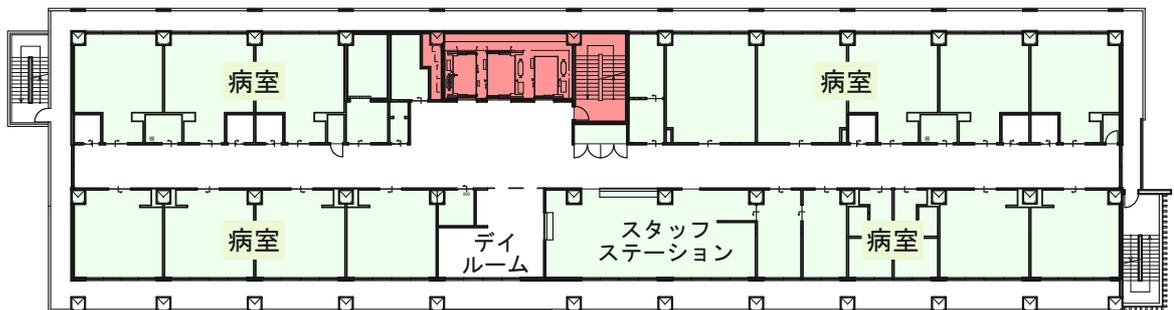
3階：透析室イメージ



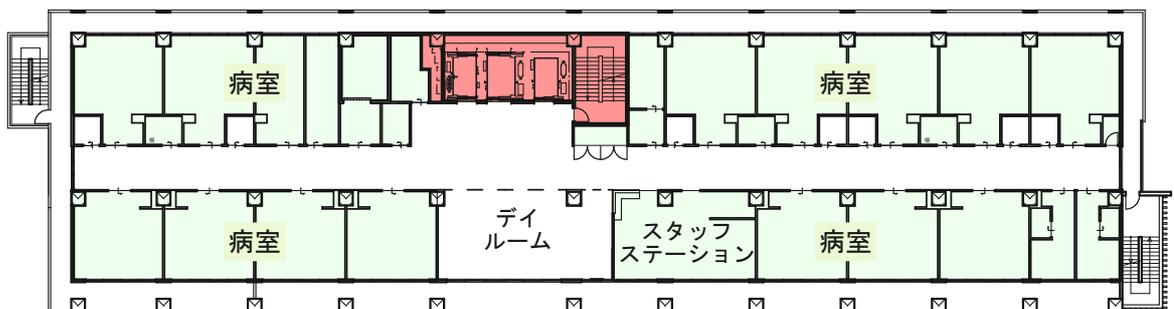
1階：総合待合イメージ



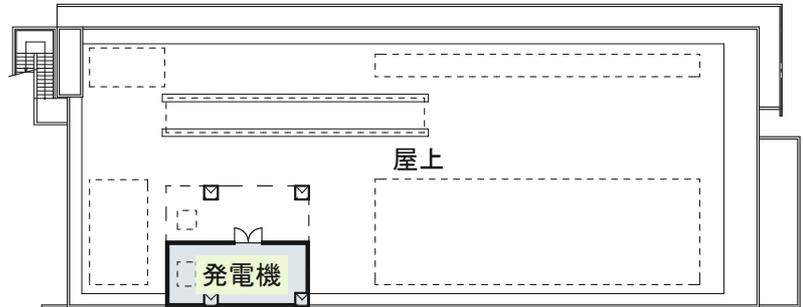
6階：一般病棟部門（30床）



5階：一般病棟部門（60床）



4階：療養病棟部門（60床）



PH階：屋上機器スペース



病棟階（4～6階）：ダイニングイメージ



外観イメージ（北側より）



外観イメージ（南側より）